

日造協ニュース

2023. 11月
通巻 第596号

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

- 2面 自由民主党予算・税制等に関する政策懇談会開催
発刊のお知らせ 造園安全衛生管理の手引き(2023年度版)
【学会の目・眼・芽】2度めの学会誌編集長とその間
(※)日本造園学会理事 千葉大学大学院園芸学研究院 教授 秋田 典子
 - 3面 第18回 全国造園フェスティバル 各地の開催概要のご紹介
 - 4面 【ふるさと自慢】北陸新幹線 福井・敦賀 開業 観光の玄関口「福井駅」をご紹介
福井県支部 坪川栄一郎(愛福園)
- 【緑滴】みどりは癒し たくさんの自然巡り
熊本県支部 田口 怜(株東武園緑化)

都市公園制度制定 150周年記念

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会 国土交通大臣表彰など会員が各賞を受賞



全国大会の第二部の冒頭で挨拶する高梨雅明(一社)日本公園緑地協会会長

都市公園制度制定 150周年記念「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会は(一社)日本公園緑地協会の主催で、10月25日に東京都渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで第一部「都市公園制度制定 150周年記念講演・先進事例発表会」、10月27日に東京都千代田区内幸町のイノホールで第二部「全国大会」を開催した。

第一部は、高梨雅明(一社)日本公園緑地協会会長が「公園緑地のこれからを考える」をテーマに基調講演を行い、「公園緑地関連三賞受賞作品“今年のNo.1はこれだ”」と題して先進事例発表会を開催。第18回一造会大賞「大賞」、ランドスケープコンサルタンツ協会の2023年ランドスケープコンサルタンツ協会賞「最優秀賞」、第39回都市公園等コンクールの「国土交通大臣賞」4件の6つの受賞作品が受賞者により発表された。

第二部の全国大会は、主催者の高梨雅明(一社)日本公園緑地協会会長のあいさつに続き、ご来賓の石橋林太郎国土交通大臣政務官が祝辞を述べられ、表彰と講演、報告が行われた。

表彰では日造協から、「令和5年度都市緑化及び都市公園等整備・保全・美化運動における都市緑化功労者国土交通大臣表彰」を田口正典氏(61)(株)田口園芸代表取締役(神奈川県)、北総一朗氏(56)北造園代表取締役(石川県)が受賞。「第39回都市公園等コンクール」では、国土交通大臣賞を(株)日比谷アメニスほか「長井海の手公園(ソレイユの丘)」

(神奈川県横須賀市)、国土交通省都市局長賞を(株)新松戸造園ほか「あそびのすみか」(千葉県松戸市)、(一社)日本公園緑地協会会長賞をアゴラ造園(株)ほか「国指定名勝戸定邸庭園の復元」(千葉県松戸市)、審査委員会特別賞を岩間造園(株)ほか「東山動植物園アジアの熱帯雨林エリア」(愛知県名古屋市)、イビデングリーンテック(株)ほか「養老公園内低利用施設のリノベーション」(岐阜県養老郡養老町)が受賞した。

講演では、全国都市公園整備促進協議会会長で船橋市長の松戸徹氏が「都市公園制度制定 150周年記念 未来の“みどり”をどう描き、実現していくか」、東京大学大学院工学系研究科教授の横張真氏が「都市の緑空間をめぐる新たなパークペクティブ」と題して講演した。

報告は、都市公園コンクール、緑の都市賞からそれぞれ「東遊園地再整備」「シモキタ園藝部」について受賞者が報告、「都市公園制度 150周年記念事業について」辻野恒一国土交通省都市局公園緑地・景観課国際緑地環境対策官が報告を行った。



都市緑化功労者表彰受賞者を囲み記念撮影

樹林

(一社)日本造園建設業協会理事

西武造園(株)取締役社長 大嶋 聡



多様で美しく、かつ持続するみどりを

本年7月に香川で開催されたG7都市大臣会合では、持続可能な都市の発展に向けた協働、都市と建築物のネット・ゼロと気候変動レジリエンスへの貢献が強く発信されました。

また、先の4月に札幌で開催されたG7気候・エネルギー・環境大臣会合でも、ほぼ同様な、経済成長とエネルギー安全保障を確保しながら、ネット・ゼロでかつ、レジリエントで循環型の、ネイチャーポジティブ経済の統合的な実現に向けた「グリーントランスフォーメーション」の重要性が打ち出されました。

まさに私たち「造園人」のステージである「緑地と水辺の空間・インフラ」の確保こそが、市民の健康とウェル・ビーイングに貢献し、気候変動等にも対応できる持続可能な都市を促進する上で重要な役割を担っていることが改めて強調され、同時に都市部における生物多様性保全の重要性も強く取り上げられ、建物内外の水、土壌、大気汚染を防止・低減することで都市はより強靱になり、人の健康に良い影響を与え、生活の質も向上させることになると言及されました。

既存緑地の保全、維持管理はもとより、新たな緑空間の創出についても、その社会的意義は益々高揚しており、今まで以上に持続性や多様性、そして「質」も求められる時代になっていると言えますが、少なくとも我々が日常的におこなっている造園施工や維持管理業務、公園等の指定管理業務等に携わっている「生業」そのものが、先述のような国の大きなミッションの解決策に直結しているということをしっかり認識し、同時に素晴らしい「造園力」の価値をさらにアピールしてゆく好機であると思います。

しかしながら一方では、異常なまでの酷暑等の気候変動への対応や、最終仕上げ工種の全体工程や最終予算の影響を受けやすい業種ゆえの、職能としての魅力の減衰等、我々造園業界の課題も解決してゆかねばなりません。

さて、わが国のこれからの緑の保全や創出においては、今まで以上にそれらの存在価値をきちんと位置づけることが重要であると思います。

そして、欧米やアジアのランドスケープ先進国の素晴らしい事情を垣間見、また刺激を受けつつ、日本としての、あるいは個々の地域としてのアイデンティティのある、持続する緑の保全・創出を図って行くべきとも思っています。

先般、あるセミナーにおいて、小職がこの業界に入る契機となった造園設計者のひとりをテーマとした機会に出会いました。ここしばらくは経営者としての業務が多く、直接的な計画設計、あるいは施工から一定距離のあった現実に対し、とても新鮮で刺激的なひとときでした。

「造園人」の姿勢としての「品格」や「センス」の必要性とともに、「風情」の重視、例えば自然度の高い空間が求められ、石を活用する場面があるのであれば岩組は自然風に造作し、花々を使うのならこぼれ種で生えているような展開により、豊かな自然に無理なく調和することや自分の心と花のある風景のつながりを持たせる等、空間づくりの根底になくはならないことを思い出させてくれた瞬間でした。

来たる2027年の国際園芸博覧会は、「造園人」の持つ感性と知恵によって、将来のみどりのあるべき姿を世界に訴求する時だと強く思っています。

輝いた。

【旭日双光章】猪瀬清次氏(74)(株)植正園社長(茨城県)、釜淵一知氏(82)元釜淵造園建設(株)社長(青森県)、北田功氏(74)(株)植清園社長(埼玉県)、山崎信幸氏(75)(株)長遊園代表取締役(長野県)【黄綬褒章】後秀夫氏(68)中部緑地(株)代表取締役(石川県)、渡邊道明氏(59)(株)兄弟緑地代表取締役(長崎県)

秋の叙勲・褒章 6氏受章

2023秋の叙勲・褒章受章者が発表され、日造協関係では、6氏が受章の栄に



猪瀬 清次 氏



釜淵 一知 氏



北田 功 氏



山崎 信幸 氏



後 秀夫 氏



渡邊 道明 氏

2024 新年造園人の集い

2024年1月5日(金)

17:50より

品川プリンスホテル

(東京都港区高輪4-10-30 ☎03-3440-1111)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、中止となる場合がございますのでご承知おきください。

自由民主党予算・税制等に関する政策懇談会開催 緑化等の取り組みに対する支援など 都市公園等関係予算に関する要望行う

11月2日、自由民主党予算・税制等に関する政策懇談会が自民党本部で行われ、日造協の田丸敬三副会長が出席した。

会議では、田丸副会長から次の令和6年度公園・緑地に関する予算等を要望した。



自由民主党予算・税制等に関する政策懇談会の様子

- 一、都市公園等関係予算の確保・拡大
- 二、都市の諸課題に対応した緑化等の取り組みへの支援
- 三、造園工事の品質の確保・向上等

2023年度 総支部・支部交流会 東北を皮切りに順次開催へ

10月24日に秋田県内にて、本部と東北総支部・支部交流会を開催した。交流会では活発な意見交換、情報交換が行われた。

これから順次各総支部・支部と交流会を開催していく。



日造協本部と東北総支部・支部交流会の様子

発刊のお知らせ 造園安全衛生管理の手引き (2023年度版)

労働災害の実態調査をもとに造園建設業の特徴を反映 造園の作業実態を踏まえ、より実効性の高い内容に改訂

労働災害を減少させるためには、従来手法である災害事例に学び再発防止対策を行うのみならず、現場に潜在する危険性・有害性を調査・評価して、それらを除去または低減して安全衛生水準の向上を目指していかなければなりません。

置いて必要に応じて見ることができる資料集として、また職場の自主的な安全衛生管理活動を進めるための手引きとして活用していただくことを目指して作成したものです。

「造園安全衛生管理の手引き」は、施工現場や事業場において、いつも手元に

今回の改訂では、日造協が会員に実施している労働災害の実態調査をもとに最近の造園建設業の特徴を反映したものに

し、造園の現場での作業実態を踏まえ、造園工事に関する「主な保護具・用具、工具、建設機械等の安全対策」や「各工種の安全基準」をより実効性の高い内容にしました。

本書は、施工現場や事業場において、いつも手元において必要に応じて参照できる資料集として、また職場の自主的な安全衛生管理活動を進めるための手引きとして活用していただくことを目指していますので、ぜひご活用ください。

- 定価 3,850 円のところ、会員価格 2,200 円で販売中
- 購入を希望される場合は、日造協のホームページから申し込みを <http://www.jalc.or.jp/publish/index.html>



冬期開催 11月20日から申込受付開始へ

2023年度「緑地樹木剪定士」研修会・試験

日造協が創設した資格制度「緑地樹木剪定士」の今年度の開催についてご紹介します。

資格制度を通じて、国土交通省の取り組む「インフラ長寿命化計画」や美しいみどり環境の実現等の社会的要請である公園や緑地に植栽された樹木を適切に育成管理でき、利用者への安全配慮ができる技術者の育成に寄与することをねらうものである。

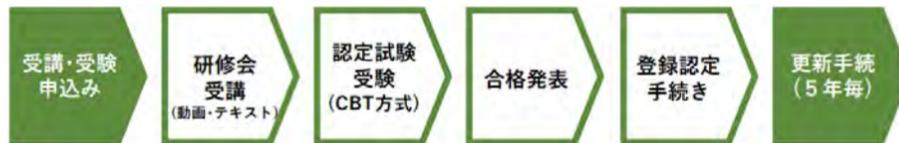
「緑地樹木剪定士」とは

緑地樹木剪定士とは、公園や緑地に植栽された樹木を適切に育成管理できる剪定のプロフェッショナルのことである。

認定までの流れ 2023年度（冬期）の開催要項

- 受講・受験資格：街路樹剪定士であること。
- ※ 同一開催回の複数回受験は不可
- 研修受講：当協会のテキストおよび動画研修の視聴
- 試験方法：CBT方式による四肢択一式 20問 45分

- 申込期間：2023年11月20日～12月19日まで
- 研修期間：2023年12月6日～2024年1月5日まで
- 試験期間：2024年1月6日～1月31日まで
- 受講・受験料：一般：35,200円
(税込・テキスト代含む)
- 日造協会員：18,700円
(税込・テキスト代含む)
- 支払方法：クレジットカード、コンビニ振込など



※ CBT方式とは：全国47都道府県に300会場以上あるテストセンターのパソコンにて試験を実施する仕組み

学会の目・眼・芽 第138回

2度めの学会誌編集長とその間

(公社)日本造園学会理事 千葉大学大学院園芸学研究院 教授 秋田 典子

今年の6月の理事会にて改めて理事に任命され、2度目の学会誌の編集委員長に就任した。

好評をいただいた。(ランドスケープ研究 85巻1号)。

前回の任期は2019年度から2020年度であり、任期の終盤にあたる2021年3月に東日本大震災から10年という節目を迎えることとなった。このため、東日本大震災において造園分野と深く関わりのある復興祈念公園の特集号を組み、学会誌初の巻頭カラー版図面付きで発行した。

今回の任期は2023年度から2024年度であり、2025年の日本造園学会100周年を迎える時期にあたる。そこで今期は100周年に向けて、これまでの学会や造園分野の歩みと展開を振り返りながら未来を展望することを目指し、2年間かけて「100周年特集連載」を組む予定である。

復興祈念公園は2021年時点における公園の設計、施工、管理の到達点を示すものでもあり、ランドスケープ分野の資料としても大変貴重である。おかげさまで本特集号は多くの方からご

学会100周年に向け、現在、様々な取り組みが同時進行しているが、本連載では若手の編集委員を中心に検討をいただいている。私自身もどのような連載になるか楽しみにしている。

ところで、前期の編集委員長から今期の編集委員長を務めるまでの2年間、一体何をしていたのかというと、大学のサバティカル制度を利用して約1年間フランスに滞在し、近代ランドスケープ史等の研究に取り組んでいた。

き続けていたことには驚いた。

水遣りも実にワイルドで、1週間に1回程度たっぷり水遣りをするのだが、アパートマンの上階の人が水遣りをする下階の窓辺に水がぼたぼた落ち、歩行中の人の頭の上に水が落ちてくることもしょっちゅうである。

そこで研究以上に印象に残ったのが、現地での生活を通じて実感した日本と欧州との緑への関わり方の違いであった。例えば、欧州ではしばしば窓辺を美しい花が彩る風景を目にする。なぜそれが可能なのか、その理由が住んでみて初めてわかった。

さらに地震もなく、台風も滅多にないので、不安定な窓辺でも植木鉢が飛ばされたり落ちたりする心配が殆どなく、安心して花鉢を飾れる。暮らしの中の花1つを取っても、単に風景や制度を真似るだけではうまくいかない。

欧州諸都市は夏でも夜間の気温が低く空気が乾燥しているため、鉢植えの花が長期間良い状態で維持されるのだ。日本の自宅では花が咲いても2、3日がせいぜいだったのに対し、パリの自室の窓辺に飾った花が半年近く咲

その国の風景には、気候や文化の違いが反映されている。日本独自の花と緑の風景がどのようなものなのか、どうすれば具現化できるのか、改めてこの課題に真摯に取り組む必要があると痛感したフランス滞在であった。

第18回 全国造園フェスティバル 各地の開催概要のご紹介

フェスティバル当日の様子を一覧形式で一部をご紹介します

支部	開催日	開催場所
青森県	10/28~29	イオンモールつがる柏
岩手県	10/28~29	仙北地区活動センター
宮城県	10/21	みちのく杜の湖畔公園
秋田県	9/30~10/1	千秋公園
山形県	9/24	庄内空港 緩衝緑地
福島県	10/19	四季の里 緑水苑
茨城県	10/8	国営ひたち海浜公園
群馬県	10/7	群馬県立金山総合公園 ぐんまこどもの国
埼玉県	11/14	埼玉県庁
千葉県	10/7	千葉県立行田公園
千葉県	10/14~15	天沼弁天池公園
千葉県	10/15	千葉県立北総花の丘公園
千葉県	10/15	幕張海浜公園

支部	開催日	開催場所
千葉県	10/21	千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道
東京都	10/15	都立戸山公園
東京都	10/19~22	都立上野恩賜公園
東京都	10/28	都立猿江恩賜公園
東京都	10/28	日比谷公園
東京都	10/28	豊洲公園
東京都	11/3~5	サンシャインシティ
東京都	11/4~5	代々木公園
東京都	11/12	川崎市緑化センター
神奈川県	10/15	県立相模原公園
山梨県	10/21	小瀬スポーツ公園
新潟県	10/14	国営越後丘陵公園
富山県	10/24	富山県民会館

支部	開催日	開催場所
岐阜県	10/7	ぎふワールド・ローズガーデン
静岡県	10/14~15	アクト通り
愛知県	10/8	木曾川祖父江緑地
三重県	11/11	北勢中央公園
福井県	10/8~17	足羽山遊園地 及び 福井市中央公園 及び センター御座所
滋賀県	10/8	荒神山公園
大阪府	10/15	難波中央公園及び浪速スポーツセンター
奈良県	10/22	大和郡山市総合公園
和歌山県	10/14	和歌山マリーナシティ いこらストリート
広島県	10/14	国営備北丘陵公園
広島県	10/21	広島市森林公園
鳥取県	10/16	J R米子駅前だんだん広場
島根県	11/12	松江くにびきメッセ

支部	開催日	開催場所
山口県	10/15	亀山公園山頂広場
山口県	10/22	下関海峡ゆめ広場
徳島県	10/8	あすたむらんど徳島
香川県	10/14	国営讃岐まんのう公園
香川県	10/15	高松市立仏生山公園
高知県	10/7	高知市中央公園
高知県	10/21	高知県立池公園
愛媛県	10/21	愛媛県立とべ動物園
福岡県	10/29	海の中道海浜公園
長崎県	12/16~17	出島メッセ長崎
熊本県	11/3	水前寺江津湖公園広木地区
宮崎県	10/9	宮崎県総合文化公園
沖縄県	11/12	沖縄県総合運動公園

群馬県支部 10/7 群馬県立金山総合公園 ぐんまこどもの国

はたらくくるまに乗ってみよう（体験イベント）、花苗配布、パネル展示、花・樹木に関するアンケート調査を実施した。



滋賀県支部 10/8 荒神山公園

グリーンフェア 2023 内で開催。樹木の相談会や、軽トラガーデン、高所作業車体験、竹切・苔玉体験を実施し、自然に触れあえるイベントで大変賑わった。



愛知県支部 10/8 木曾川祖父江緑地

第35回稲沢サンドフェスタ2023と共催。スタンプリナーなどを実施。子供たちを対象にしたイベントが多かったが保護者に日造協のPRが十分できた。



新潟県支部 10/14 国営越後丘陵公園

日造協の紹介・啓発パネル展示及び啓発チラシの配布、特産物の販売を実施。大勢の方が来場、特にチューリップの球根つかみ取りは大盛況でした。



大阪府支部 10/15 難波中央公園及び浪速スポーツセンター

造園相談や花苗配布、日造協ポスター掲示、チラシ配布を実施した。ブースの前には行列ができ、喜ばれた。



鳥取県支部 10/16 J R米子駅前だんだん広場

苗木プレゼント、樹木名当てクイズ、寄せ植え教室、剪定教室、球根つかみ取り、箱庭づくりなど、様々な企画を実施。多くの方が来場、楽しんでいただけた。



東京都支部 10/19-22 都立上野恩賜公園

「上野恩賜公園開園150周年記念総合文化祭」に花の種の配布等で参加。進士五十八東京農業大学名誉教授の基調講演等もあり、多くの来園者で賑わった。



宮城県支部 10/21 みちのく杜の湖畔公園

花苗配布や球根植え込み、プランター作り体験を実施し、行列ができるほど大盛況だった。



広島県支部 10/21 広島市森林公園

空から森林公園を眺めてみよう！いつもと違う風景が見えるはず！のテーマで小学生を対象に高所作業車体験乗車を実施した。



愛媛県支部 10/21 愛媛県立とべ動物園

造園相談や球根配布を実施した。動物園という会場の特徴を生かし、動物の餌やり体験も行い、子どもたちにも大変喜ばれた。



富山県支部 10/24 富山県民会館

ミニバラと花の種の配布、のぼり旗、日造協ポスターパネル展示を実施し、多くの方が来場し、造園業を広くPRできた。



福岡県支部 10/29 海の中道海浜公園

剪定枝で森のスプーン作り、みどりに関するアンケート、ポスター展示を実施。それぞれ参加者に花の種や苗をプレゼントし、多くの方に喜んでいただけた。



ふるさと自慢 北陸新幹線福井・敦賀開業 観光の玄関口「福井駅」をご紹介します

令和6年3月、北陸新幹線、福井・敦賀間が、ついに、ついに開業します。お隣石川県の金沢までで延伸が止まり、恨めしく思い続けて早や8年…とにかく長ーく待ただけに、県内は今、新幹線の話題一色です。

◆
そこで今回はちょっと趣向を変えて、観光地ではなく、観光の玄関口『福井駅』そのものを紹介してみようと思います。

「駅を紹介されても…」と思われるかも知れませんが、侮るなかれ。福井駅、今風に言うなら、ばえるスポットがいっぱいなのです。

◆
福井県では多数の恐竜化石が見つかることもあり、恐竜をブランドイメージとして打ち出しています。

となれば当然、駅はもう恐竜だらけ。



◆
まず西口側、駅舎壁面全体には、横45m縦10mにも及ぶ、巨大な恐竜イラストをラッピング。

壁面下部には、飛び出してくるよう見えるトリックアートも。

さらに福井で生息していたとされるフクイラプトル、フクイサウルス、フクイティタンの実物大で動くモニュメントまであって迫力



西口 フクイティタン④壁面トリックアート④



西口 フクイラプトルとフクイサウルス 及び壁面ラッピング



東口 ハート形のフクイティタン よく見ると赤ちゃんも

満点。そして東口側、福井市観光交流センターの屋上テラスには、フクイティタン2体でハートを描く、かわいいモニュメントが。奥には卵からかえったばかりの赤ちゃんもいて、デートにぴったりです。

◆
ここでは紹介しきれませんが、他にも恐竜達でいっぱいです。

家族連れで。恋人と。友達と。写真を撮って楽しく盛り上がること間違いなし。

ぜひ、福井駅に！
…あ、駅に来てそのまま帰るとかは無しです。玄関口の外にも見どころいっぱいありますので…(笑)

福井県支部 坪川栄一郎(愛福園)

- 11(月)・女性活躍推進部会 テーマ別小会議(経営者)
・街路樹剪定士認定委員会(試験部会)
・建専連企画委員会(第4回)
12(月)・近畿総支部・支部との交流会
13(月)・植栽基盤診断士認定委員会
14(月)・北陸総支部と北陸地方整備局との意見交換会
20(月)・女性活躍推進部会テーマ別小会議(出前講座)
・街路樹剪定士認定委員会
22(金)・総支部長等会議

- 催、植栽基盤整備ハンドブック第6版改訂について審議
●安全部会
10/12 建災防との意見交換、安全衛生対策項目確認表の作成、「造園安全衛生管理の手引き(第11→12版)」の改訂について審議
●女性活躍推進部会
10/17 京都府立農芸高校出前講座を実施
●財政基盤強化部会: 会員拡大P推進部会合同会議
10/23 会員アンケートの実施、今後5年間の会員拡大プロジェクト等について審議
●技術・技能・調査部会
10/24 造園施工管理のポイント～造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修～ 試行・開催について会員へ周知
●登録造園基幹技能者講習(岡山)
10/26-27 17名が受講

委員会等の活動

- 広報活動部会
10/3 日造協ニュース 10月号～2023年2月号について審議
●植栽基盤診断士認定委員会
10/4 植栽基盤診断士認定試験(学科試験)の可否判定、植栽基盤診断士認定試験(実地試験)の開

【造園用フルハーネスの購入方法】
造園の作業に適した「造園用フルハーネス」を会員特別価格でご購入希望の方は URL (http://shop.kousinen.com/) よりお申込ください。



編集後記 阪神ファンの皆様 おめでとうございます! アレのアレで盛り上がりましたね。ビールかけの際、「成績に見合った振る舞いをするように」とはしゃぐ選手を前に岡田監督の一喝。強いチーム作りには大切な言葉でした。

私はまわりが山に囲まれた大自然の中で生まれ、育ちました。小さい頃は父と家の管理(私は山遊び)をしたり母が経営している花屋で遊んだり、稲刈りや田植えも毎年手伝っていました。そのような環境で幼少期を過ごした私は植物、自然が大好きになりました。そして大学で造園と出会い、今は社会人一年目として日々頑張っています。

緑の一滴 みどりは癒し たくさんの自然巡り



◆
そんな私の最近の休日の過ごし方は緑を求めて友達とドライブに行くことです。福岡にある太宰府天満宮に行ったり山奥にあるカフェに行ったり。熊本では水前寺成趣園や阿蘇の草千里ヶ浜、白糸の滝、ヒマワリ園などなど・・・今年一年の間だけでもたくさんの自然巡りに行きました。私にとって緑は癒しを与えてくれます。

◆
小さいころから緑の中で過ごす時間が多かった私が社会人になり、今は仕事としても毎日植物に関わることができています。仕事やプライベートでも新しい発見の連続で緑(植物)の奥深さに気づき、緑が好きという思いが日々増えています。

◆
高校生の時は花屋になるつもりでしたが、高校3年生の夏に庭に



九重 白糸の滝 ヒマワリ園 タデ原湿原 能古島 草千里ヶ浜

◆
関する本を見たことをきっかけに造園に興味を持ちました。大学で造園を学び、社会人になった今でも実践の中で日々植物・造園について学んでいます。

◆
自然の中で生活してきた私は緑をもっと多くの人に身近に感じてもらいたいと思っています。そのためにも色んなところに足を運び、実際に見て、どんなところでどういう風に緑が活用されているかを学んでいきたいです。

◆
そして、私の好きな緑に囲まれて仕事ができている今の環境に感謝しながらこれからも頑張りたいと思います。

- 24(金)・中部総支部・支部との交流会
28(月)・造園・環境緑化産業振興会 代表者会議・国交省との意見交換会
30(月)・植栽基盤診断士認定試験(実地試験)福岡
・北海道総支部・支部との交流会
【12月】
4(月)・九州総支部・支部との交流会
・造園技術フォーラム部会
5(月)・女性活躍推進部会 テーマ別小会議(ロールモデル)
・広報活動部会
・2023年「今年期待の造園人の集い」選定委員会
6(月)・女性活躍推進部会 テーマ別小会議(勉強会)
7(月)・運営会議
・建災防との意見交換会
8(月)・植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)

事務局の動き

- 【11月】
1(水)・植栽基盤整備ビデオ撮影
7(水)・広報活動部会
9(月)・関東・甲信総支部・支部との交流会
・植栽基盤診断士認定試験(実地試験)東京
10(金)・建専連 全国大会
11(土)・第18回日中韓国際ランドスケープ専門家会議
・2023年度関西支部大会(合同開催)
13(月)・園芸博覧会 理事会(WEB)
14(水)・コスモス国際賞記念のつどい
15(木)・植栽基盤診断士認定試験(実地試験)名古屋
17(金)・四国総支部・支部との交流会
・北陸総支部・支部との交流会
17(金)・第61回技能五輪全国大会
20(月)・植栽基盤整備ビデオ撮影